

# 日本音楽学会第62回全国大会 プログラム

大会第一日 11月5日(土曜日)

9:30～	受付開始(18号館1階)				
9:50～	開会の辞				
10:00	会長挨拶 日本音楽学会会長 磯山雅(5号館523)				
	5号館523	5号館524	5号館521	コラボ2	コラボ3
	司会:沼野雄司	司会:ゴチェフスキ、ヘルマン	司会:森泰彦	司会:(未定)	司会:(未定)
10:00	Session A-1	Session B-1	Session C-1	(未定)	(未定)
12:10	研究発表 A-1 藤野純也(東日本支部) ストコフスキーのエレクトリック・オーケストラ計画の詳細～理想の担い手としてのエレクトロニクス	研究発表 B-1 中村真(西日本支部) せめぎ合う「民謡」概念の中で——レオシュ・ヤナーチェクによる1920年代の民謡研究——	研究発表 C-1 池上健一郎(東日本支部) 古典派時代におけるシチリアーナ——作曲実践に基づく考察	(未定)	(未定)
	Session A-2	Session B-2	Session C-2	(未定)	(未定)
	研究発表 A-2 日比美和子(東日本支部) ロシアの音楽理論における共通第三音関係と新リマン理論のスライド関係	研究発表 B-2 阿久津三香子(東日本支部) 1890年代ニーターエスターライヒにおける労働者合唱運動	研究発表 C-2 中川航(東日本支部) チェルニーのピアノソナタの音楽史的意義——理論化および定式化の過程における「ソナタ」の存在様式として——	(未定)	(未定)
Session A-3	Session B-3	Session C-3	(未定)	(未定)	
研究発表 A-3 曾田裕司(西日本支部) ジョン・ケージにおけるアナキー概念の複合性について	研究発表 B-3 朝山奈津子(東日本支部) 『ドイツ音楽の遺産(EDM)』における戦中と戦後——音楽史観の変遷	研究発表 C-3 小石かつら(西日本支部) F.メンデルスゾーンの二部分形式作品:初期ピアノ作品におけるスタイル習得の過程	(未定)	(未定)	
12:10～ 13:10	昼休み(生協食堂で昼食をお取りください)				
	18号館ホール	司会:塚原康子	司会:小泉恭子	司会:	司会:
13:10	ラウンドテーブル I	Session D-1	Session E-1	研究フォーラム 1	研究フォーラム 2
16:10	「グローバル化する音楽学:日本からの提言(Globalizing Musicology: Advocacy from Japan)」 コーディネーター:伊東辰彦(東日本支部) パネリスト:川本聡胤(フェリス学院大学、ポピュラー音楽)、酒井健太郎(昭和音楽大学、近代日本音楽)、新堀敏乃(アジア仏教音楽/学術振興会/東京大学)、HRVATIN, Klara(大阪大学大学院、日本民族音楽)(15:10まで)	研究発表 D-1 平間充子(東日本支部) 古代日本の儀礼と雅楽寮の奏楽一場の論理から奏楽の脈絡を読む	研究発表 E-1 山上揚平(東日本支部) 2D STG ジャナルにおける「ゲーム音楽」の機能分析	「『音楽を科学する』こと——歌声の学際的研究——」 ファシリテーター:岸本宏子(東日本支部) 参加予定者: 岸本宏子(東日本支部、昭和音楽大学) 中巻寛子(東日本支部、愛知県立芸術大学) 長木誠司(東日本支部、東京大学) 大野はな恵(非会員) その他(若手の科学者など)非会員2～3人	「映画音楽研究のアクチュアリティ——視聴覚メディアの変遷の中で」 ファシリテーター:白井史人(東日本支部) 参加予定者: 尾鼻崇(西日本支部・立命館大学)「ゲーム音楽の実践・研究と映画音楽」(仮題) 柴田康太郎(東日本支部・東京大学)「映画音楽不要論」再考——深井史郎の映画音楽論を中心に」 白井史人(東日本支部・東京大学)「映画の中のクラシック」研究——パッハ、ヴァーグナー、マーラー」 高岡智子(西日本支部・京都大学)「DEFA映画と娯楽——映画音楽とロックの政治学」 +1名(未定、非会員の現場関係者、あるいは映画研究者の可能性あり)
		Session D-2	Session E-2		
		研究発表 D-2 梶野絵奈(東日本支部) 20世紀初頭日本におけるヴァイオリン演奏——ヴァイオリンを弾く身体と、その実践をめぐる意味の重層性	研究発表 E-2 今井晋(東日本支部) ポピュラー音楽の創造性とミュージシャンシップ——ロック・バンドのスタジオ・リハーサル相互行為分析から		
		Session D-3	Session E-3		
研究発表 D-3 白石朝子(中部支部) アンリ・ジル=マルシェツクスによる日仏文化交流の試み——4度の来日(1925-1937)における音楽活動と日本音楽研究をもとに	研究発表 E-3 中村美亜(東日本支部) 音楽の語りなおし、音楽による語りなおし——ミュージッキング概念の精緻化と二つの事例検討	Session E-4			
Session D-4	Session E-4	研究発表 E-4 山本美紀(西日本支部) コンサートホールにおける「教育プログラム」の構造と作品アプローチ——ウィグモア・ホール Wigmore Hall(英:ロンドン)の教育プログラムを中心に——			
16:20～ 17:50	総会(5号館525)				
18:00～ 20:00	懇親会(東大生協駒場食堂2F)				

# 大会第二日 11月6日(日曜日)

9:30～ 受付開始(18号館1階)						
	5号館523	5号館524	5号館521	5号館522	コラボ2	コラボ3
	司会：佐藤望		司会：福中冬子	司会：井上貴子	司会：(未定)	司会：(未定)
10:00	Session F-1		Session G-1	Session H-1	(未定)	(未定)
12:10	研究発表 F-1 大崎滋生(東日本支部) ベートーヴェンと楽譜出版——音楽社会的アプローチ(Ⅰ)		研究発表 G-1 中村仁(東日本支部) 「完全なる所有」への「欲望」——E.T.A.ホフマン『スキュデリ嬢』からヒンデミット《カルディアック》へ	研究発表 H-1 福田宏(東日本支部) 社会ダーウィニズムとドヴォルジャーク——チェコ社会における音楽の「進歩」と「退化」——	(未定)	(未定)
	Session F2		Session G-2	Session H-2	(未定)	(未定)
	研究発表 F-2 室町さやか(東日本支部) ヴェネツィアのオスベダレに関する一次史料調査報告—18世紀ヴェネツィアの女性音楽家たち		研究発表 G-2 永井玉藻(東日本支部) プーランク《カルメル会修道女の対話》における楽曲モチーフの用法	研究発表 H-2 和田ちはる(東日本支部) ハンス・アイスラーの《ドイツ交響曲》——その成立と受容をめぐる一考察——	(未定)	(未定)
	Session F-3		Session G-3	Session H-3	(未定)	(未定)
	研究発表 F-3 吉江秀和(東日本支部) 18世紀末の古楽アカデミーの変容——サミュエル・アーノルドの指揮者就任の背景に関する一考察——		研究発表 G-3 奥村京子(西日本支部) リゲティの「アリス」舞台化計画と《ナンセンス・マドリガルズ》との関連	研究発表 H-3 松本奈穂子(東日本支部) Eu加盟交渉とトルコ音楽・舞踊の民主化	(未定)	(未定)
	18号館ホール					
	ラウンドテーブルII					
	「実践に基づく研究」と大学 コーディネーター：遠藤衣穂(東日本支部) パネリスト：中田朱美(東日本支部)、向井大策(東日本支部)、吉川文(東日本支部)					
12:10～13:10	昼休み(希望者にはお弁当を用意します)					
	司会：大角欣矢	司会：岡田暁生	司会：柿沼敏江	司会：遠山奈穂美	司会：(未定)	司会：(未定)
13:10	Session I-1	Session J-1	Session K-1	Session L-1	研究フォーラム3	(未定)
15:20	研究発表 I-1 平井真希子(東日本支部) カリクストゥス写本の楽譜写本——単旋聖歌とポリフォニーの関係についての一考察	研究発表 J-1 稲田隆之 ヴァーグナーの《指環》における「詩のメロディー」	研究発表 K-1 Ruka Shironishi(東日本支部) Consonance, Dissonance, and Prolongation in Debussy's <i>Il pleure dans mon coeur</i>	研究発表 L-1 木内麻理子(東日本支部) ギュスターヴ・ルフェーヴルの『和声論』(1889)——その特徴と位置づけ——	「変容する音楽、変容するフィールド—実践音楽学への挑戦」 ファシリテーター：中村美亜(東日本支部) 参加予定者：中村美亜(東日本支部)	(未定)
	Session I-2	Session J-2	Session K-2	Session L-2		(未定)
	研究発表 I-2 山本成生(東日本支部) 天上と地上のポリフォニー——「奏楽天使」の音楽図像学的研究	研究発表 J-2 横溝綾 《タンホイザー》における予感と回想	研究発表 K-2 Chi, Hyung Joo(東日本支部) A Study on Naturalisation of the 'Intercultural Tendency' in the Mid-20th Century Korean Composition.	研究発表 L-2 白石悠里子(東日本支部) フォーレの作品創作に関する一考察——《ピアノ五重奏曲第1番》op.89を中心として	三宅博子(非会員：慶應義塾大学 GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点」非常勤研究員) 沼田里衣(非会員：神戸大学大学院国際文化科学研究科異文化研究交流センター協力研究員川崎医療福祉大学非常勤講師)	(未定)
	Session I-3	Session J-3	Session K-3	Session L-3		(未定)
	研究発表 I-3 高野裕子(西日本支部) 1700～60年パリのクラヴサン楽曲にみられる趣味の変化——外国人作曲家による	研究発表 J-3 岡田安樹浩 《ジークフリート》第1幕の総譜初稿におけるオーケストレーションの修正	研究発表 K-3 Oh, Hee Sook(東日本支部) The 'intercultural' problem in bi-cultural instrumentation: A focus on	研究発表 L-3 関野さとみ(東日本支部) 近代フランスの音楽語法にみられるイスパニズムの諸相	長津結一郎(非会員：東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程/日本学術振興会特別研究員)(16:10まで)	(未定)

	楽譜出版とその影響 に関する一考察——		contemporary Kor- ean composition			
	司会：礒山雅	司会：長木誠司	司会：野川美穂子	司会：横井雅子	司会：(未定)	司会：(未定)
	Session M-1	Session N-1	Session O-1	Session P-1	(未定)	研究フォーラム 4
15:30 }	研究発表 M-1 富田庸 (東日本支部)	研究発表 N-1 藤村晶子 (東日本支部)	研究発表 O-1 神月朋子 (東日本支部)	研究発表 P-1 松尾梨沙 (東日本支部)	(未定)	「音楽学における日韓 交流の可能性と未来」 ファシリテーター： ゴチェフスキ、ヘル マン (東日本支部) 参加予定者： ゴチェフスキ、ヘル マン (東日本支部) Chi, Hyung Joo (東 日本支部、Yonsei University) Oh, Hee Sook (東日 本支部、Seoul Na- tional University)
17:40	19世紀の出版譜から 見るバッハ受容の諸 様相	1920年代の「ヘンデ ル・ルネサンス」 ——「オペラ危機」 の時代におけるヘン デル像の変容	平尾貴四男における フランス音楽受容 ——異文化理解と伝 統の創造——	ショパンの「文章法」 に見る楽曲構造—— 1831年までのポーラ ンド語による手紙を もとに	(未定)	
	Session M-2	Session N-2	Session O-2	Session P-2	(未定)	
	研究発表 M-2 江端伸昭 (東日本支 部)	研究発表 N-2 畑野小百合 (東日本 支部)	研究発表 O-2 三枝まり (東日本支 部)	研究発表 P-2 一柳富美子 (東日本 支部)	(未定)	(未定)
	“Der beruehmte Sammelband Hausers”——消失し た手稿譜の曲目同定 について	A. シュナーベルによ る文化プロパガンダ 的演奏活動——第一 次世界大戦期の活動 とレパートリーの変 遷の契機をめぐって ——	橋本國彦の交響曲第 2番 (1947) の研究	声楽作品におけるグ リーンカの保守性 ～同時代のアリヤー ビエフ、ダルゴムィ ーシスキとの比較 を通して～	(未定)	(未定)
	Session M-3	Session N-3	Session O-3	Session P-3	(未定)	(未定)
	研究発表 M-3 佐藤康太 (東日本支 部)	研究発表 N-3 白井史人 (東日本支 部)	研究発表 O-3 水野みか子 (中部支 部)	研究発表 P-3 原口昇平 (東日本支 部)	(未定)	(未定)
	テレマンの影版スタ イルと《フルートの ための12のファンタ ジア》出版年代再考	シェーンベルク《映 画の一場面のための 伴奏音楽》の創作史 上の位置づけ—— 1920年代の映画伴奏 音楽と12音技法の進 展のなかで——	アジアにおける電子 音響音楽の歴史研究	ピッツェッティ《牧 人たち》の分析と解 釈	(未定)	(未定)
17:50	閉会挨拶 第62回大会実行委員長 長木誠司 (5号館523)					

\*個人発表は、発表時間30分、質疑10分、次の発表者との入れ替え5分、です。

\*パネル・ディスカッションは120分をお願いいたします。